

キリングroup 2019年10月販売概況レポート

日頃から大変お世話になっております。キリングroupの10月販売概況について、下記の通りご案内いたします。

記

1. キリンビール社

- ビール類計は、市場が対前年 88%程度と推定される中、当社は 87%となった。
- ・9月の仮需影響により、10月単月はマイナス着地となったものの、9-10月の2か月間では、105%と前年を上回った。
- ビール計は、市場が対前年 90%程度と推定される中、当社は 91%となった。
- ・「一番搾り」は10月単月こそ 91%となったものの、9-10月の2か月間では、105%、特に「一番搾り缶」は9-10月で 115%と、好調に推移している。
- ・「ハイネケン」は「ラグビーワールドカップ 2019™日本大会」のワールドワイドパートナーであり、10月単月で 224%と好調に推移。大会が開幕した9月から10月までの2か月間では 282%と大幅増を達成した。
- 発泡酒計は、市場が対前年 80%程度と推定される中、当社は 79%となった。
- 新ジャンル計は、市場が対前年 89%程度と推定される中、当社は 88%となった。
- ・「本麒麟」は増税仮需の反動があるにも関わらず、113%と前年を大きく上回った。
- RTD計は、101%となった。

カテゴリー	前年比
ビール類計	87%
ビール計	91%
発泡酒計	79%
新ジャンル計	88%
RTD計	101%

2. メルシャン社

- 重点ブランドのシャトー・メルシャンは好調に推移し、プラス着地となった。

カテゴリー	前年比
ワイン合計	79%
国内製造ワイン計	75%
輸入ワイン計	82%

3. キリンビバレッジ社

- 「午後の紅茶」は、3月発売の「ザ・マイスターズ ミルクティー」の好調に加え、6月にリニューアルした「おいしい無糖」が前年比二桁増で好調に推移し、プラス着地となった。
- 「ファイア」は、10月にリニューアルしたショート缶の好調に加え、「ワンデイ ブラック」が引き続き寄与し、単月前年比 2割増となった。

カテゴリー	前年比
清涼飲料合計	109%

以上